
(後期) 1～4 年次・選択

【概要・目標】

心理学は教育・医療・福祉の対人援助職に必須であり、例えば社会福祉士は「心理学理論と心理的支援」という科目を必ず受講している。本学医学部でも「心理学」は必修である。従って、他職種連携を目指すためには必要な素養である。昨年度はいくつかの分野を重点的に紹介したが、今年度はオーソドックスな概論の講義を行う。

【授業内容のスケジュール】

- 1) 心の生物学的基盤(第 2 章)
- 2) 意識と二重路線の心(第 3 章)
- 3) 生得要因、獲得要因、人間の多様性(第 4 章)
- 4) 生涯を通じての発達(第 5 章)
- 5) 感覚・知覚：(第 6 章)
- 6) 学習(第 7 章)
- 7) 記憶(第 8 章)
- 8) 中間試験：テキストのみ持ち込み可。追試なし。書面で事由を説明可能な欠席（事前・事後報告）、及び第 7 回開始時点での事前申告による受験回避の場合は、期末試験の点数で代用。
- 9) 中間試験講評：書面で事由を説明できない欠席者の今後の受験は認められず、不合格。
- 10) 思考と言語(第 9 章) ※1 月 20 日以降、3 週連続で月・金 5 時限目開講予定。
- 11) 知能(第 10 章)
- 12) 動機づけと仕事(第 11 章)
- 13) 情動とストレスと健康(第 12 章)
- 14) パーソナリティ(第 13 章)
- 15) 心理学の生い立ち、クリティカル・シンキング、科学的心理学(序章及び第 1 章)

【評価】

中間試験(第 8 回：12 月 13 日 5 時限目施工予定)48 点満点、期末試験(定期試験スケジュール)48 点満点。試験形式は、両方とも、問題選択式記号選択式試験(24 点満点)と問題選択式論述式試験(24 点満点)の 2 部構成である。これに加えて、授業初めに予習小テストを抜き打ちで 2 度実施する(各 6 点満点)。第 1 回の授業で実施される可能性もあるので、毎回予習すること。追試はなく、書面で説明可能な欠席は 3 点扱いとする。合計 108 点満点を絶対評価して成績報告とするが、100 点を超過した点数は切り捨てとする。

※今年度は再試験(48 点)を実施する。中間・期末のいずれか低い方との入れ替えである。但し、中間試験を受験しなかった場合(書面で事由を説明できる場合を除く)は 0 点とする。

【教科書】

マイヤーズ(著)村上郁也(訳)「マイヤーズ心理学 カラー版」西村書店 2015

※必携である。本体 9,500 円と高価であるが、コピーの持ち込みは認められない(持ち込み 2 回まで許可。以降は欠席扱い。試験への持ち込みは本体に限る)。2020 年度の本科目はこれより安価で軽量のテキストが採用される予定である。尚、第 14 章は「人間関係論」の石井先生担当分の予習に使える。

【推薦参考図書】

第 1 回配布予定の授業進行用シラバスを参照のこと。

【その他】

授業に関する質問などは、「オフィスアワー」時間帯(研究室のドアに掲示)でしか対応できない。